

2025年度 サステナビリティ行動計画と実績

ナガセヴィータ（Nagase Viita）では2019年度に設定したサステナビリティの重要課題（マテリアリティ）に取り組むため、「サステナビリティ行動計画」を策定しました。2030年に私たちが目指す“ステークホルダーの皆さまへの提供価値”を明確化し、その達成に向けた2025年度目標を策定、全社でベクトルを合わせさまざまな取り組みを進めています。



人・企業風土 | 変化を楽しみ自ら行動を起こす

2030年の提供価値	事業成長を牽引するリーダー育成とダイバーシティ推進
対応するマテリアリティ	社員エンゲージメントの向上
2025年度実績	① サクセッションプラン実行、社内研修制度の充実、キャリアプラン運用 ▶サクセッションプラン実現に向けた人財制度の検討を開始 ▶キャリアプランシートの運用レビュー結果より、自分事化できるよう改訂 ▶社内研修制度の充実させ層別研修（部長研修、課長研修等）を新規設定・実施 ② 女性活躍推進の取り組み ▶女性管理職の人数（比率）18名（13.2%）（2024年度19名：13.1%） ▶女性社員の研修参加率増加31.0%（目標25%以上） ③ 障がい者および外国籍人財の雇用促進、シニア人財活躍 ▶障がい者雇用のロードマップの作成を完了 ▶外国籍人財である留学生と交流 ▶嘱託再雇用制度の改定
2030年の提供価値	社員一人ひとりが自発的な貢献意欲をもって能力を発揮している
対応するマテリアリティ	社員エンゲージメントの向上
2025年度実績	① Purpose、Valuesの理念浸透活動とエンゲージメントの向上 ▶各部門内での対話を継続的に実施 ② 部署を越えた対話機会の創出 ▶「新マテリアリティ」の浸透を目的とした、部署横断クロス対話を実施
2030年の提供価値	コーポレートガバナンスの強化を通じたインテグリティの追求： 「悪いことをしない」から「良いことをする」へ
対応するマテリアリティ	社員エンゲージメントの向上

2025年度実績	① インテグリティ概念の啓発と浸透（主体性・積極性見える化含む） ▶各種研修（ハラスメント防止、課長研修）におけるインテグリティ教育の実施 ② 倫理/コンプライアンスに関するKPI ▶重大な法令違反件数：0件 ▶入社時コンプライアンス教育受講率：100%を達成 ▶内部通報件数の開示、コンプライアンスWEBアンケートの実施 ③ 人権方針の実施・運用体制の確立 ▶サステナ行動計画を用いた人権対応のPDCA管理を開始 ▶人権に関する教育の実施（eラーニング、expert講演会） ④ コーポレート会議体の検証と運営の見直し ▶取締役会における親会社経営層への報告実施 ▶経営会議の運営ルール見直し（資料事前確認など）や、 四半期毎実施への実施頻度見直しと全体レビュー実施
----------	--

2030年の提供価値	健康経営の推進
対応するマテリアリティ	社員エンゲージメントの向上
2025年度実績	① 健康経営の推進 ▶健康経営優良法人認定の偏差値向上25年度：55.4（24年度：53.5） ▶「スポーツエールカンパニー2026」等の新規認定・がん対策優良企業の表彰を獲得 ▶社内活動「健康チャレンジ」の参加率向上（68.4%⇒78.8%） ▶各種健康増進施策（睡眠・介護等に関する研修や講演など）の実施 ② 有過失事故件数の低減 ▶有過失事故件数：13件（対前年度比マイナス2件） ③ 労災事故低減 ▶度数率（0.62）・労災頻度（0.74）ともに目標1.0以下を達成 ▶熱中症法改正に伴う対応フロー作成や全社員対象の講習会を実施

事業 | 市場をリードする技術を追求め、世界の人々の生活の質を向上させる

2030年の提供価値 （食品素材事業）	食の未来への貢献、生きる力を世界に提供 ※「国連食料システムサミット2021」へのコミットメント
対応するマテリアリティ	健康寿命延伸への貢献／安定的な食料確保
2025年度実績	① 健康寿命延伸、安定的な食料確保に貢献する食品への採用：500件 ▶採用食品数：500件超 達成 ② ウェビナーなどの開催を通じたサステナビリティ取り組みの紹介 ▶展示会でのプレゼンや学校での講演等を実施、総参加者1,000名以上 ③ 顧客の経営層とサステナビリティ対話を行い、パートナー企業との共創を目指す ▶顧客の経営陣とSDGsに関する対話（面談数1,000件）を実施し、 パートナー企業との協力関係を構築
2030年の提供価値 （パーソナルケア・医薬品素材事業）	QOL向上と健康寿命延伸への貢献
対応するマテリアリティ	健康寿命延伸への貢献／環境負荷の低減

2025年度実績	① サステナ貢献を掲げる国内外の顧客企業との対話継続により、パーソナルケア業界でのグローバルサステナ基準の策定動向を理解し、会社の信頼度向上を目指す ▶ パーソナルケア分野における化成品代替としてのサステナブル素材の提案により、採用を開始 ▶ 医薬向け機能性糖質ブランドの新製品上市や、論文投稿・展示会出展を通じた積極的な情報発信および顧客対話を実施 ② サステナブルな有用性素材の開発取組み（新素材開発） ▶ 注力テーマの開発推進
----------	---

2030年の提供価値 (ウェルネス製品事業)	サステナビリティに対する当社の取組みの理解者拡大
対応するマテリアリティ	健康寿命延伸への貢献／安定的な食料確保／社員エンゲージメントの向上／環境負荷の低減
2025年度実績	「価値をお客様に届ける」新成長方針の推進

2030年の提供価値	オープン・イノベーションを通じた新規技術の創出
対応するマテリアリティ	健康寿命延伸への貢献／安定的な食料の確保／環境負荷の低減
2025年度実績	① 産学共同の包括的なオープン・イノベーション イニシアチブ&地域連携の継続実施 ▶ 岡山大学との産学連携講座の開講（11月）と、第14回グローバルRCE会議を通じた講座開設のアナウンスを実施 ② 海外契約の起案・審査力強化 ▶ 法務部員による各拠点への定期訪問・対面ヒアリングを通じた知識蓄積を実践

環境 | 事業活動を通じて持続可能な社会づくりに貢献する

2030年の提供価値	環境負荷低減を通じた持続可能な社会への貢献
対応するマテリアリティ	環境負荷の低減
2025年度実績	① CO2排出量：[Scope1,2] 2013年度比 49.9%削減（目標:36.9%削減） ② 上水使用量・排水量・産業廃棄物量（目標：2018年度比で原単位7%削減） ▶ 上水使用量：19.8%削減 ▶ 排水量：13.9%削減 ▶ 産業廃棄物量：32.6%削減

2030年の提供価値	生産性の向上、モノづくり現場の持続可能性
対応するマテリアリティ	社員エンゲージメントの向上
2025年度実績	① DX推進の継続実施 ▶ AIデータ分析体制の構築 ▶ 情報の電子化による水平展開の簡略化を実施 ② ロードマップの継続的な見直し ▶ 外部技術のキャッチアップを目的とした内外環境分析を実施し、次期経営計画に向けた議論に活用 ③ 個々のアクションの進捗管理 ▶ 定型的な事務作業を自動化する仕組みの継続運用

2030年の提供価値	世界水準のマネジメントシステムを通じた「安心・安全」の提供
対応するマテリアリティ	健康寿命延伸への貢献／安定的な食料確保／環境負荷の低減

2025年度実績	① 品質保証の現場力強化 ▶工場・設計開発・サプライヤー各QAにおける役割や基準等の整備 ▶品質保証体制機能の強化を目的とした新組織の立ち上げ ② 品質管理体制（QMS）の整備 ▶ナガセヴィータ独自のQMS構築に向けた文書体系の整備 ▶重要課題を経営者がレビューできる仕組みの確立 ▶品質コストの見える化 ③ 顧客クレーム削減 ▶2025年度実績27件（前年39件） ▶再発案件を2件（前年7件）へと減少
----------	---

2030年の提供価値	Quality Cultureの定着
対応するマテリアリティ	健康寿命延伸への貢献／安定的な食料確保／環境負荷の低減
2025年度実績	品質文化の更なる醸成（全社向け品質意識の向上活動） ▶全社品質教育体系の策定 ▶各階層（新入社員・課長等）に応じた品質教育の実施 ▶品質文化醸成度評価（アンケート）を実施

2030年の提供価値	サプライチェーン全体での環境負荷削減
対応するマテリアリティ	環境負荷の低減
2025年度実績	① サプライヤーとのさらなる関係構築（持続可能な調達） ▶設問項目を拡大したCSRアンケートの実施（ガイドライン浸透率100%を確認） ▶外部専門家の監査による人権デューデリジェンスの確認の実施 ② 持続可能な輸送体制の構築 ▶レンタルパレット運用への切り替え推進 ▶輸送効率改善に向けた新たな拠点を確定 ③ 品質保証面の対応継続 ▶配送効率を意識した製品荷姿のコンパクト化製品の出荷開始